

高等学校 令和7年度（1学年用）

教科 芸術

科目 美術Ⅰ

教 科： 芸術

科 目： 美術Ⅰ

単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：（1～7組：草川）

使用教科書：（美術1（日本文教出版））

教科 芸術 の目標：

【知識・技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考・判断・表現】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【主体的に学習に取り組む態度】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 美術Ⅰ の目標：

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	題材の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現				鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			絵・彫	デ	映							
1 学 期	●表現基礎を学ぶ（絵画表現） 【知識・技能】 形や色彩，材料などの性質や造形的な特徴などをもとに，表現の基礎的な部分を，全体のイメージや作風などで捉えることを理解する。 意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに，表現を工夫し，創造的にあらわす。 【思考・判断・表現】 身近なものを見つめ，感じ取った特徴やものに対する自分の思いなどから主題を生成し，形や色，構図，材料や用具の特性などについて考え，創造的な表現の構想を練る。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に表現基礎を学び，造形的なよさや美しさを感じ取り，自分の思いなどをもとにした表現の創造活動に取り組む。	・指導事項 ○鉛筆の性質や特徴を理解し、デッサン表現の基礎的な考え方（調子、光、陰影、立体感など）について理解する。 ○カッターや定規などの用具の特性を生かして表現を工夫させる。 ○他者の作品からよさや美しさを感じ取り、自分の創造的な表現活動に取り組む。 ○教科書のQRコードを読み取り画像資料や動画資料を鑑賞し、表現活動に生かす。（スマスク端末の活用）	○				○	【知識・技能】 形や色彩，材料などの性質や造形的な特徴などをもとに，表現の基礎的な部分を，全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに，表現を工夫し，創造的にあらわそうとしている。 【思考・判断・表現】 身近なものを見つめ，感じ取った特徴やものに対する自分の思いなどから主題を生成し，形や色，構図，材料や用具の特性などについて考え，創造的な表現の構想を練っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に表現基礎を学び，造形的なよさや美しさを感じ取り，自分の思いなどをもとにした表現の創造活動に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	●静物画（絵画表現） 【知識・技能】 形や色，材料，光などが感情にもたらす効果や，光や陰影，奥行きなどの造形的な特徴などをもとに，静物を描いた作品を，全体のイメージや作風などで捉えることを理解する。 意図に応じて材料や用具を選択し，その特性を生かすとともに，表現を工夫し，主題を追求して創造的にあらわす。 【思考・判断・表現】 心ひかれる静物を見つめ感じ取ったことや，その静物に対する自分の思いなどから主題を生成し，形や色，光や陰影，構図や奥行きなどについて考え，創造的な表現の構想を練る。 描かれている静物の造形的なよさや美しさを感じ取り，作者が作品に込めた思いや意図と創造的な表現の工夫などについて考え，見方や感じ方を深める。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に静物を描いた作品の造形的なよさや美しさを感じ取り，作者の意図や作品に込められた思いなどについて考える鑑賞の創造活動に取り組む。	・指導事項 ○心ひかれる静物をあらわすことに関心をもち，静物から感じ取ったことや，自分の思いなどから主題を生成する。 ○主題をもとに，形や色，構図などの構想を練る。 ○光や陰影，奥行きの表現などを工夫して制作する。 ○絵具や筆などの用具の特性を生かして表現を工夫させる。 ○完成作品を鑑賞し合い，意図や工夫を感じ取る。 ○教科書のQRコードを読み取り画像資料や動画資料を鑑賞し、表現活動に生かす。（スマスク端末の活用）	○				○	【知識・技能】 形や色，材料，光などが感情にもたらす効果や，光や陰影，奥行きなどの造形的な特徴などをもとに，静物を描いた作品を，全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 意図に応じて材料や用具を選択し，その特性を生かすとともに，表現を工夫し，主題を追求して創造的にあらわしている。 【思考・判断・表現】 心ひかれる静物を見つめ感じ取ったことや，その静物に対する自分の思いなどから主題を生成し，形や色，光や陰影，構図や奥行きなどについて考え，創造的な表現の構想を練っている。【発想・構想】 描かれている静物の造形的なよさや美しさを感じ取り，作者が作品に込めた思いや意図と創造的な表現の工夫などについて考え，見方や感じ方を深めている。 【思・鑑賞】 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に静物を描いた作品の造形的なよさや美しさを感じ取り，作者の意図や作品に込められた思いなどについて考える鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。【態度・鑑賞】	○	○	○	20

